



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

「テストの点数」よりも大切なもの・・・ ～評価テスト①を終えて、本当の学びを始めよう～

生徒のみなさん、評価テスト①、お疲れ様でした。特に1年生にとっては中学校に入って初めての定期テスト。緊張した面持ちで問題用紙に向き合う姿が印象的でした。さて、テストが返却される際、生徒のみなさんの心はどう動いているでしょうか。「やった!」「ダメだった……」と、点数だけで一喜一憂して終わっていませんか。実は、テストの本番は「終わった後」にあります。



テストは、自分の弱点を見つけるための「健康診断」のようなものです。できなかった問題は、今のあなたに足りない「伸びしろ」を教えてくれています。授業を聞いて理解したつもりでも、自力で解けないのは知識が定着していない証拠です。また、単純な計算ミスなのか、問題文の読み飛ばしなのか、それとも根本的な理解不足なのか。原因を分析することで、次の学習戦略が立てられます。

点数という結果は変えられませんが、「次への準備」は今この瞬間から変えられます。丁寧に直しを行い、同じ間違いを繰り返さないこと。その積み重ねが、大きな実力へと繋がっていきます。

加賀地区大会の舞台で、最高の「自分たち」を ～加賀地区大会兼県体予選まで、あと3週間～

いよいよ、集大成のときが近づいてきました。早い競技は3週間後には「加賀地区大会兼県体予選」が幕を開けます。

3年生のみなさんにとって、この大会はこれまでの部活動の集大成であり、県大会への切符をかけた負けられない戦いです。振り返れば、この2年2ヶ月の日々で、うれしかったことや楽しかったこと以外にも、くじけそうになったことや仲間とぶつかり合ったこと、悔しくて涙した練習試合や大会など、多くのドラマがあったはずですが、最後の3週間、ここから先の技術的な向上はもちろんですが、最も差がつくのは「心の持ち方」です。

1 「当たり前」の質を上げる

道具の整理、挨拶、キビキビとした動き。心に隙を作らないチームこそが、土壇場で強さを発揮します。

2 仲間への「声掛け」を惜しまない

苦しいときに誰かを励ます一言が、チームの空気を変えます。一人はみんなのために、みんなは一人のために。

3 コンディション作りも実力のうち

怪我の予防と体調管理には細心の注意を払ってください。ベストコンディションでコートやグラウンド、フィールドに立つことが、最大の恩返しです。



部活動を通して学んできたことは、決して技術だけではないはずです。苦楽を共にした仲間を信じ、自分を信じ、最後まで粘り強く戦い抜いてください。「頑張れ、浅中生!」全校生徒、そして教職員一同、みなさんの健闘を心から応援しています。

「努力した者がすべて報われるとは限らん。しかし、成功した者は皆すべからく努力しておる。」

目の前の「直し」も、3週間後の「勝利」も、すべては今日の一步から始まります。